

科目名	専門基礎分野				ディプロマ・ポリシー(DP)	DP1	
	人体の構造と機能 疾病の成り立ちと回復の促進				担当教員	専任教員	
	看護形態機能学Ⅱ (生きていく)						
履修学年	1年	履修学期	前期	単位数	1	時間数	30
授業目標	1. 「生きていく」ための各生活行動におけるからだの機能を看護の視点で理解する 2. 動くためのからだの機能を理解する 3. 食べるためのからだの機能を理解する 4. トイレに行くためのからだの機能を理解する 5. 話すためのからだの機能を理解する 6. 眠るためのからだの機能を理解する 7. 生活行動から捉えた、皮膚の機能を理解する						
回	学習内容				方法	担当教員	
1 2 3	1) パフォーマンス課題： 「五感を活用して日常生活への支援につなげるからだの機能を説明する」 2) 動く (1) 動きのメカニズム（姿勢、神経からの筋への指令と筋の収縮） (2) 意図的、意図的でない運動（脊髄反射、随意運動） (3) 運動を可能にする骨（骨格筋・関節の動き）				講義	専任教員	
4 5	3) 食べる (1) 食欲、食行動、咀嚼、嚥下 (2) 消化と吸収（消化液、消化液分泌調節、栄養の吸収、 吸収後の栄養分と肝臓の働き）				講義		
6 7	4) トイレに行く (1)尿の生成と排尿のメカニズム (2) 排便のメカニズム				講義		
8	5) 話す（発声器官と働き、話を聞く、言葉の理解）				講義		
9	6) 眠る（睡眠と覚醒のメカニズム）				講義		
10	7) お風呂に入る（皮膚の機能：分泌・排泄、体温調節、知覚作用） （皮膚と粘膜）				講義		
11 12 13	8) パフォーマンス課題：まとめ・発表				演習		
14 15	9) 子どもを産む				講義		
評価規準 評価方法	演習・パフォーマンス課題・筆記試験100点評価						
テキストおよび 参考文献	看護形態機能学 第4版（日本看護協会出版会） 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学（医学書院）						
履修上の注 意点							